

森林教室を行いました

令和6年度における最初の森林教室を6月5日（水）滝沢市にある国立岩手山青少年交流の家で行いました。

対象者は、安代小学校5年生14名、田山小学校5年生10名でした。

当日は、まず教室内で授業を行い、それから野外で樹木の観察などを行いました。

最初に、私たちのまわりに広がる森林について、比較的寒い地域に住む樹種が多く、それらが集まって森を作っていることを説明しました。

また、樹木は光合成という仕組みで大きくなることや、森は生物多様性の宝庫であり、それらの生き物同士が関わり合って森林生態系を作っていることを知ってもらいました。

さらに、森の働き（地球温暖化防止、水源かん養、山崩れ防止など）や森からの恵み（家、家具、紙、燃料、山菜・キノコなど）についても理解を深めてもらいました。

野外での樹木観察においては、樹木が大きくなる仕組みや樹木と関わっている生き物について、実際に樹木に触れながら学んでももらいました。

授業は会話形式や体験形式とし、自分が思ったこと・感じたことを素直に発言してもらい、みんなが積極的に学習できるとても有意義な時間となりました。

今後も、身近にある森林を知ってもらえるよう、森林教室を続けていきます。



身近にある樹木を講義中



樹木を観察しています